

第73回“社会を明るくする運動”出発式 教育長 激励の挨拶

今年度、73回目を迎える“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯してしまった人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする、全国的な運動です。本日の宮古島市における出発式にあたり、ごあいさつを申し上げます。

犯罪や非行をした人が再出発するためには個人の力だけでなく、支え合う人と人との絆やコミュニティの存在等、立ち直りを支える地域の力が必要となります。他者から受け入れられ、仲間の一人として認められる環境は、再出発への基盤となり、孤独感や挫折感を乗り越える力となるでしょう。

そのためには私たち一人一人が思いやりのこころを持ち、犯罪や非行防止への取り組みを更に充実させていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症については、未だ注意が必要な状況ではありますが、以前に比べると対面でのコミュニケーションはかなりとりやすくなっております。本日の出発式を機に、再出発を目指す人々にしっかりと向き合い、支えながら、市民と行政、関係団体が一体となり、さらに明るい社会をつくっていけるよう力を尽くして参りましょう。

宮古島市教育委員会といたしましては、学校教育活動や青少年の健全育成事業などを通して非行防止に取り組むと同時に、社会教育団体への支援を通して地域コミュニティとの連携にも引き続き取り組んでいく所存です。

結びに、当運動の宮古地区推進委員会の事務局を務めます宮古保護区保護司会の皆様、関係機関の皆様の日頃の活動に改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くために、共に力を尽くすことをお約束いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

令和 5年 7月 3日
宮古島市教育委員会 教育長 大城裕子